

2023. 9. 22 作成

# 2023 IMPライダーズフェスティバル 特別規則書



開催日：2023年11月26日（日曜日）  
開催場所：井頭モーターパーク レーシングコース  
主催：井頭モーターパーク 楳りんサン

# 2023 IMPライダーズフェスティバル 開催概要

**この規則書は今後変更される場合があります。その場合、当施設のホームページにUPしますのでご注意ください。**

## ○開催趣旨

二輪車を愛し、平時からその走行を楽しみ、スポーツ走行を通してライディングテクニックの向上を目指すライダーの方がカテゴリーの枠を越え、仲間達との二輪車のライディングを楽しむことを目的に開催いたします。

## ○主催、大会事務局

株式会社 リンサン

〒321-4415

栃木県真岡市下籠谷468-2

TEL:0285-80-5440

FAX:0285-80-5441 HP <http://www.linson.co.jp/>

## ○開催場所・日程

開催場所: 井頭モーターパーク レーシングコース(620m)

開催日: 2023年11月26日(日曜日)

## ○開催概要

井頭モーターパーク規定のミニバイク車両を使用したスプリントレース及び耐久レースを開催する。

## ○開催クラス及び参加定員

**下記のスプリントレース及び耐久レースで参加可能な車両の詳細は、車両規則(P19~P20)で確認してください。**

### 1)スプリントレース

- エキスパート SPクラス(2スト50cc 未満・4スト100cc 未満)・・・SP・ノーマルクラス合計で18台
- エキスパート ノーマルクラス(2スト50cc 未満・4スト100cc 未満)・・・SP・ノーマルクラス合計で18台
- チャレンジクラス LAP:36秒以上目安 (2スト50cc 未満・4スト125cc 未満)・・・**チャレンジ・GROM 合計で18台**
- GROM クラス GROM 車両のみ参加可能・・・チャレンジ・GROM 合計で18台**

※SPクラスとノーマルクラスは混走としますが、賞典は個別に行います。また、参加定員台数はSPクラスとノーマルクラス合計で18台としますが、両方の比率は異なる場合があります。(例としてSP:12台、ノーマル:6台など)

※**チャレンジクラスと GROM クラスは混走としますが、賞典は個別に行います。また、参加定員台数はチャレンジクラスと GROM クラス合計で18台としますが、両方の比率は異なる場合があります。(例としてチャレンジ:12台、GROM:6台など)**

※エキスパートがノーマルクラスのみ開催となった場合にSP車両で参加希望の方が居る場合は、スタートハンディで対応します。尚、その逆で、SPクラスのみ開催となった場合、ノーマルクラス車両での参加は可能とします。

※参加クラスについては、事前の自己申告制となりますので、良識の範囲でエントリーお願いします。

※参加希望の人数が定員を超えた場合、参加受付(エントリー代納付済)順が優先となります。

### 2)耐久レース・・・18チーム

※2スト85cc 未満・4スト150cc 未満(ノーマルクラス・SPクラス・OPENクラスの混走でクラス毎に周回ハンディあり)

※参加希望のチームが定員を超えた場合、参加受付(エントリー代納付済)順が優先となります。

## ○参加料金と保険料

●スプリントレース 1台6,000円(耐久とのWエントリーは4,000円)+(傷害保険加入者分の保険料)

●耐久レース 1チーム15,000円+(傷害保険加入者分の保険料)

※傷害保険の掛金は、P16の【保険掛金】の項目を参照して下さい。

## ○エントリー受付期間

レース開催 1ヶ月前から7日前まで(10月26～11月19日)

## ○エントリー方法

所定の用紙にライダー名とチーム名を記入し、参加料金を添えて井頭モーターパーク レーシングコース受付に提出、若しくは現金書留にて郵送してください。

尚、耐久レースエントリー者は、先着10チームに限り屋根付きピットを割り当てます。

(先着 10 チーム優先の件は、電話予約はできませんので必ず現金書留で郵送、または、ご来場ください。)

### 郵送先

〒321-4415

栃木県真岡市下籠谷468-2

株式会社リンサン 井頭モーターパーク

# 2023 IMPライダーズフェスティバル 特別規則書

この規則書は今後変更される場合があります。その場合、当施設のホームページにUPしますのでご注意ください。

## 1. 参加受理

- 1) 参加申込チームの代表者に対して、大会事務局より参加受理または参加拒否が大会前までに通知される。
- 2) 参加を拒否された申込チームに対しては参加料が返還される。
- 3) 参加を受理された後、参加を取り消す申込チームに対して参加料は返還されない。

## 2. 出場受付

- 1) 受付開始の時間は、参加受理書、またはタイムスケジュールにより通知される。
- 2) 定められた時間内に受付が出来ないものは、不参加とみなしリタイヤ扱いとする。
- 3) 参加受付時に、参加受理証と、井頭モーターパーク スポーツ安全保険に未加入の参加ライダーと登録ピットクルーの方は、各自の保険証のコピーを提出すること。
  - ※ 万が一の事故などに備え、傷害保険(井頭モーターパーク スポーツ安全保険)にライダーとピットクルーの方は加入ができます。尚、加入は任意としますが、加入される方の条件等がありますので、P15～P16の傷害保険の項目で確認して下さい。
  - ※ 上記の保険に加入されない場合は、各自の保険で対応となりますので、ご理解のうえ保険証のコピー提出を宜しくお願いします。

## 3. 競技方法

### ●スプリントレース

各クラス タイムトライアル:10分間 ファイナルレース:15周

### ●耐久レース

タイムトライアル:20分間 ファイナルレース:90分耐久

## 4. エントリー資格

下記のいずれかに該当すること

- レース当日までに、IMPレーシングコースを走行したことがある方。
- MFJライセンス所持者
- 他コースのミニバイクレースに出場した経験がある方。
- IMPが特別に参加を認めた方。

※ ライダーが18歳未満の場合、親権者の承諾を要す。親権者の自筆にて、署名・捺印し、印鑑証明を添えて参加申込書を提出すること。

## 5.1 チームの登録人数

耐久レース：ライダー 2人～6人まで

スプリント／耐久レース：ピットクルー 2名まで

## 6. ライダーミーティング

競技に関する要領説明などを行う為、ライダー本人が必ず出席しなければならない。

## 7. 公式練習

- 1) タイムスケジュールで示された時間内のみの走行を認める。
- 2) タイムトライアルではないので、十分安全を確保した走行をしなくてはならない。
- 3) レースに参加するチームは、必ず1周以上は走行すること。(計測器の作動確認を行う為。)
- 4) 参加台数により、公式練習を2グループに分ける場合がある。

## 8. 公式予選(タイムトライアル)

- 1) スプリントレース10分間、耐久レース20分間(2グループの場合15分)のタイムトライアル方式で行う。
- 2) トップタイムが同タイムの場合は、セカンドタイムを採用する。セカンドタイムも同タイムだった場合は抽選(じゃんけん)となる。
- 3) 耐久レースのタイムトライアルは時間内であればライダーを交代してもよい。但し、時間終了3分前からはピットアウト出来ない。
- 4) 参加台数により、タイムトライアルを2グループに分ける場合がある。

## 9. ファイナルレース(決勝レース)

- 1) スプリントレース  
15周の周回レースとなります。  
スターティンググリッドは公式予選(タイムトライアル)の結果順となります。  
スタート前に1周のウォームアップランを行います。
- 2) 耐久レース  
90分間の耐久レースとなります。  
スタートの整列は公式予選(タイムトライアル)の結果順となります。  
クラス毎に周回ハンディやチーム毎に最低ピットストップ回数があります。

## 10. スタート方法

### ●スプリントレース

- 1) スタンディングスタートとする。
- 2) スタートの合図は、1コーナーアウト側の信号にて行う。赤信号が消灯し、青が点灯したらレーススタートとなる。  
(電球切れ等により青が点灯しなくても、赤が消えたらレーススタートとします。)

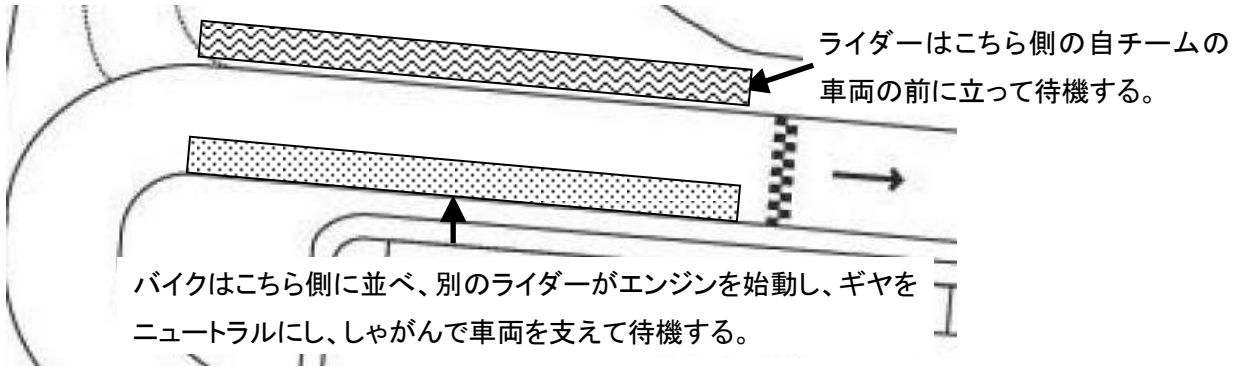
### ●耐久レース

- 1) スタートは旧ル・マン式スタートとする。
- 2) スタート前、コース上での給油・整備は一切禁止する。
- 3) スタートの合図は、1コーナーアウト側の信号にて行う。赤信号が消灯し、青が点灯したらレーススタートとなる。  
(電球切れ等により青が点灯しなくても、赤が消えたらレーススタートとします。)



このホームストレート  
エンドにある信号で  
スタート合図を行いま  
す。

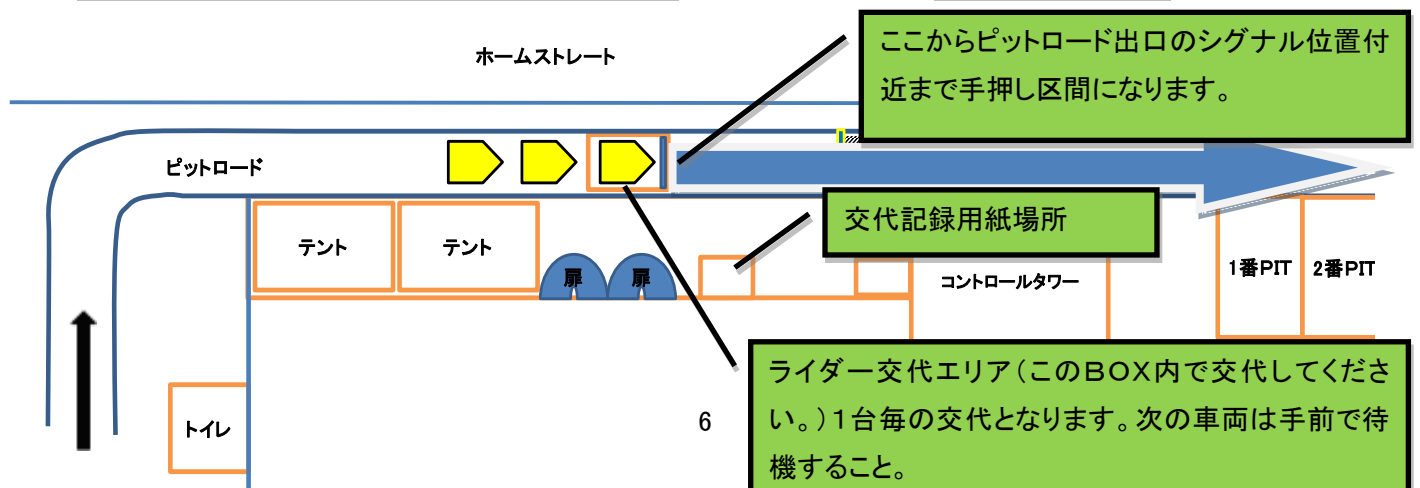
- 5) スタート前、車両はホームストレート上ピットロード側に停車し、スタートを担当するライダーは自チームの車両の反対側に立って待機する。(下図参照)



- 6) 車両は同じチームの別ライダーがエンジンを始動し、ギヤがニュートラルになっていることを確認し、車両の後方をしゃがんで車両を支えて待機する。(上図参照) スタートが切られるとき、このライダーはその場から動いてはならない。全車両が通過後、速やかにコース内より退出すること。
- 7) スタート時、車両を支えていたクルーが車両を押し出してスタートさせた場合、ペナルティの対象となる。
- 8) スタート時、エンジンをストールさせてしまった場合、全車スタート後にスタートを担当するライダーが自身でエンジンをかけなおして、スタートしなければならない。この時、車両を支えていたライダーは補助してはならない。
- 9) スタートできなかった場合、コースオフィシャルの指示に従い車両をピットに移動させなくてはならない。修理完了後、ピットからスタートすることが出来るが、オフィシャルの指示に従わなければならない。
- 10) その他の方法で行う場合は、公式通知で発表する。

## 11. ライダー交代方法とピット回数について(耐久レースの決勝ヒートのみ適用)

- ・ピット回数(ライダー交代)は最低3回以上義務とし、下図の決められた場所で1台毎に行ってください。
- ・現役の国際A級ライダー在籍チームは、上記の規定回以外に1人当たりプラス1回とします。
- ・交代後に走行が終了したライダーの方は、交代記録用紙に名前を記入してください。(記入を省く場合あり)
- ・交代場所からピットロード出口のシグナル位置付近(線の印あり)までは、バイクの手押し区間になります。



## 12.レースの終了

- 1) レースの終了は、スタートから規定周回数または規定の時間を経過した時点で周回数のトップを走行している車両からチェッカーフラッグが提示された後、全車チェッカーを受けた時となる。
- 2) ファイナルラップにフィニッシュライン手前でトップの車両のすぐ前に他の車両がいる場合はトップの車両に対して指差しと同時にチェッカーフラッグを提示する。トップの車両はその時点でレース終了となるが、すぐ前を走行している車両はファイナルラップを完走しチェッカーフラッグを受けなくてはならない。チェッカーを受けないでピットインした場合は、ピットインする前の周でレースを終了したとみなす。
- 3) チェッカーフラッグが提示されているのを見落とし再度チェッカー(Wチェッカー)が提示された場合、当該チームはペナルティを与えられる。
- 4) 先頭の車両が規定の周回数を終了する以前に、誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点をもって競技終了となります。また、遅れてチェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、競技は規定の周回数で終了したのものとして、順位が決定されます。

## 13.レースの一時停止及び再スタート

- 1) 事故、安全性の問題またはその他いかなる理由によっても、競技を中断する必要があるとみなされた場合、競技長またはその指示により赤旗が提示される。その場合、全てのライダーはただちにレースを中断し、スロウダウンしてピットインし、オフィシャルの指定した場所に車両を止めること。
- 2) 赤旗中断の場合、競技長の指示があるまでピットクルーは車両の整備を行なってはならない。
- 3) ピットエリアで作業中の車両に対しても上記が適用される。
- 4) レーススタート後、先頭車両と同一周回の全車が3周を走行完了する前に赤旗が提示された場合は、当該レースは無効となり新たに再レースが行われる。
- 5) 耐久レースの場合、レーススタート後、2/3未満(60分未満)に赤旗が提示された場合、提示された前の周回までを第1ヒートとし、再スタート後の周回を第2ヒートとし、合計周回でレースの結果を出すものとします。但し、第2ヒートが開催困難な場合は、第1ヒートの結果でレース終了とします。(2ヒート制の場合、合計周回数で同一周回のチームがあった場合、第2ヒート着順優先とする。)
- 6) レース再スタートのスタート方法はグリッドスタートとなり、グリッドポジションは第1ヒートの結果に基づきます。
- 7) グリッド上に戻れない車両については、ピットスタートとなり最後尾につくこと。
- 8) 耐久レースで赤旗が提示されたとき、レース時間が2/3以上(60分以上)経過していた場合はレース終了となり、結果は赤旗が提示された一周前の周回数で決定される。

## 14.クラス毎の周回ハンディについて(耐久レースのみ適用)

●3クラス(ノーマルクラス・SPクラス・OPENクラス)が参加の場合

・ノーマルクラス ⇒ ハンディなし

・SPクラス ⇒ ノーマルクラスの参加台数が10台以上の場合: -2周、9台以下の場合: -3周

・OPENクラス ⇒ ノーマル+SPクラスの参加台数が15台以上の場合 -4周、10台~14台の場合: -5周、9台以下の場合: -6周

※SPとOPENクラスのみ場合は、SPクラスの参加台数が10台以上の場合 -2周、9台以下の場合: -3周をOPENクラスのハンディとします。

※1クラス開催の場合は、ハンディはなしとします。

※修正は、レース中に行うか、レース終了後に行うかの2通りあります。当日発表します。

※例として、レース中に4周分修正する場合は、スタート1周目から4周目までを計測しなかったと見なしますので、その部分のタイム(ベストが出たとしても)は記録に残りません。

※赤旗などで一旦停止し、90分に満たないでレースが成立した場合でもこの周回ハンディ数は有効とします。

## 15.順位の決定・賞典

1) レースの順位は、次の順序により周回数の多い順で決定される。

### ■ 優先順位

- 1) 完走者(チェッカーを受けたライダーの中で周回数が多い順)
- 2) 完走者(チェッカーを受けていないライダーの中で周回数が多い順)
- 3) 未完走者の中で周回数が多い順
- 4) 失格者の中で周回数が多い順

※完走とは、レースの着順 1 位のライダーがフィニッシュライン(ゴールライン)を通過後、2 分以内に自力で同ラインを通過したライダーに対して、チェッカー旗が振られその周回までがカウントされます。フィニッシュラインを通過する際には、ライダーはバイクに乗車した状態でなければなりません。(手押しで通過することは禁止です)又、チェッカー旗とは関係なく、優勝者の周回数の**75%以上**(少数点以下切り捨て)を**走行**していれば**完走扱い**となります。

### ●スプリントレース

1) レースが成立しているクラス個別で賞典はチームに対して行われ、以下の通りとなる。

#### ■ 賞典

- ◎ 優勝:トロフィー+副賞
- ◎ 準優勝:トロフィー+副賞
- ◎ 三位(出走台数が5台未満の場合はなし):トロフィー+副賞
- ◎ 飛賞(出走台数が8台未満の場合はなし):副賞
- ◎ 参加賞…全員に賞品

※ 出走台数が4台未満の場合は不成立となる場合があります。

### ●耐久レース

1) レース結果はポイント制となり以下の計算式でポイントを集計し決定する。

$$\text{総合ポイント} = (\text{クラス毎のハンディ周回数を加味した周回数} \times 1P) - (\text{ペナルティ: } 5P \times \text{回数})$$

- 2) 上記計算式で同ポイントであった場合は、ペナルティの回数が少ない順。さらに、ペナルティの回数と同じ場合はレースの周回数順となります。周回数と同じ場合は、その周回のフィニッシュライン通過順位となります。
- 3) 賞典はチームに対して行われ、以下の通りとなる。

#### ■ 賞典







- ◎ 総合優勝…総合ポイントが1位のチーム:トロフィー+副賞
- ◎ 総合準優勝…総合ポイントが2位のチーム:トロフィー+副賞
- ◎ 総合三位…総合ポイントが3位のチーム(出走台数が5台未満の場合はなし):トロフィー+副賞
- ◎ ハーフ賞…総合ポイントが参加台数を2で割ったときの正数の順位のチーム:副賞  
(例:11台のときは5位のチーム)(出走台数が8台未満の場合はなし)
- ◎ ブービー賞…完走車の中でドベ2位(出走台数が7台未満の場合はなし):副賞
- ◎ 残念賞…最初にリタイアしたチーム。リタイアしたチームがない場合は、最下位のチーム:副賞
- ◎ 参加賞…全チームに賞品

※ その他賞典を追加する場合があります。

※ 出走台数が4台未満の場合は不成立となる場合があります。



## IMPミニバイクレース 公式シグナル

旗の種類	旗の意味	旗の種類	旗の意味
国旗 	タイムトライアルスタート レーススタート (通常は、1コーナーアウト側の信号をしようします。)	黒旗 +文字付きサインボード 	サインボードで示された番号の競技車両(ライダー)は速やかにピットインし、オフィシャルの指示に従うこと。
黄旗 	危険予告 コース上(ランオフエリアを含む)に危険がある。 減速、停止準備、 該当する危険ポイントまで 追い越し・追い抜き禁止	黒旗 +Pの文字付サインボード 	サインボードで示された番号の競技車両(ライダー)に、ペナルティによる減点が科せられたことを示す。 当該車両はピットインする必要はなく、走行を続けてもよい。
赤ストライプ黄旗 	コース表面が滑りやすい状態。(オイル漏れの可能性やコース上に落下物がある場合も含む)	オレンジボール旗 +文字付きサインボード 	オフィシャルにより、サインボードで示された番号の競技車両(ライダー)は、車両またはライダー本人になんらかの不備またはトラブルがある可能性があり、確認の意味もあるので、競技車両は速やかにピットインし、オフィシャルの指示に従うこと。また、緊急な危険がある場合は、コース上の安全な場所に停止させる場合あり。
赤旗 	レース中断 全てのライダーは最大限の慎重さと注意を持ってピットインし、オフィシャルの指定した場所に車両を止めること。	チェッカー旗 	レース終了 レース終了後のWチェッカー(チェッカーを2度受ける行為)はペナルティ対象となります。

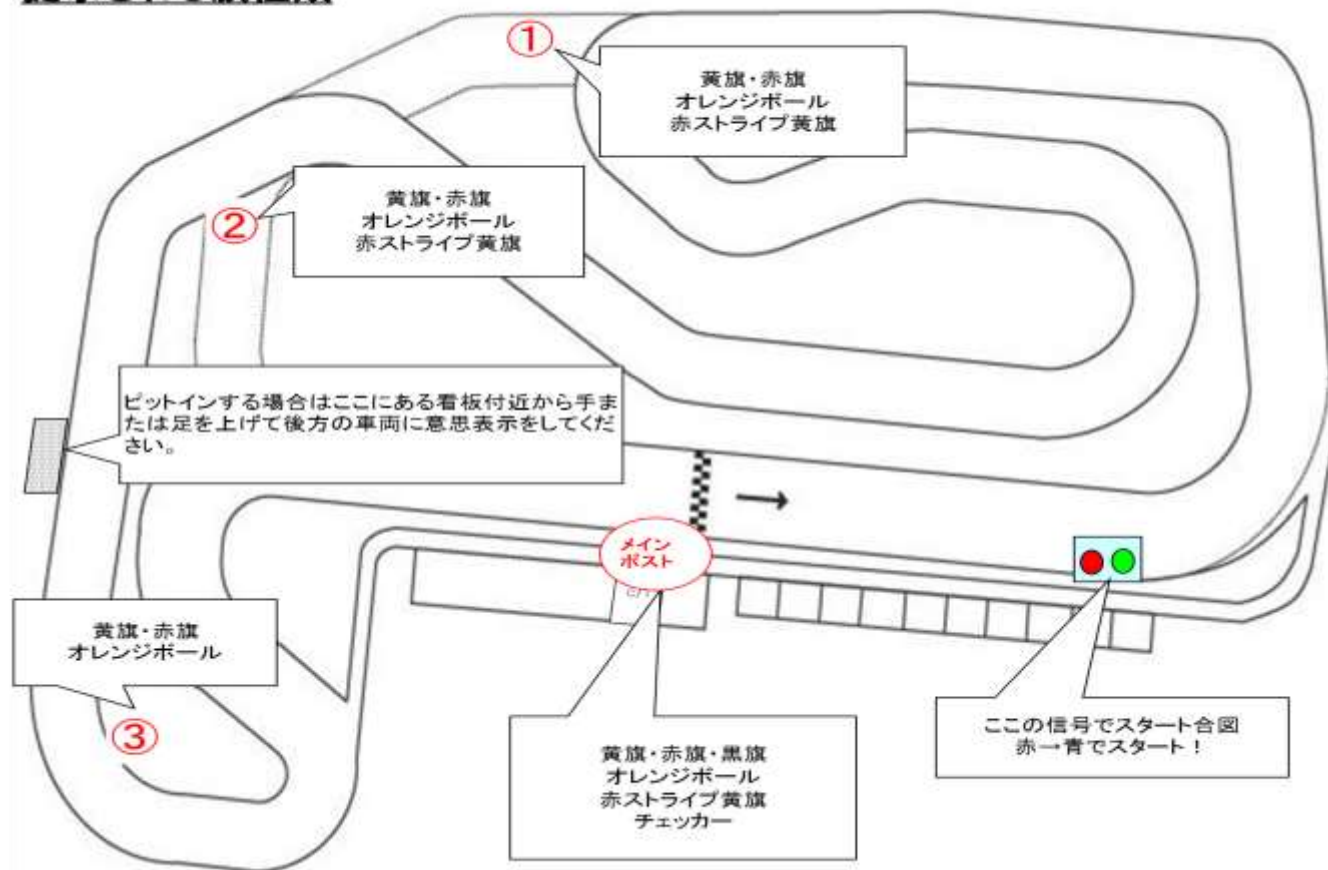
※ 旗・表示板の提示場所は次ページのコース図を参照してください。

※ 黄旗の後の追い越し禁止区間の解除は、黄旗から黄旗原因の場所までとなります。緑(グリーン)旗は出ないので間違えの無いようご注意ください。

※ 青旗は使用しません。周回遅れを追い抜く際は、遅い車両に気を遣い、追い抜きをしてください。

※ 通常のバイクレースと違う行動をしなければならない場合があるので、間違えないようにしてください。

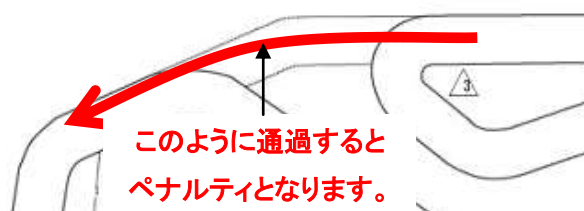
## オフィシャルポスト配置図と 提示される旗種類



## 15.サーキット走行に関する規則

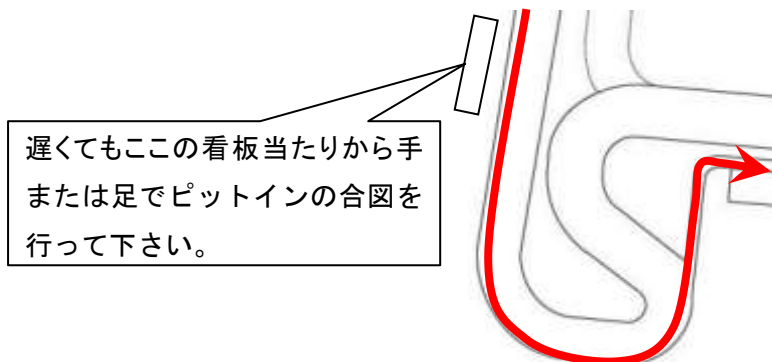
### 1) 走行中について

- 1) ライダーは前に示したオフィシャルが指示を伝えるシグナルに従わなければならない。
- 2) ライダーがコースアウトしたとき、当該ライダーはオフィシャルが指示した場所か、自身が有利にならない場所からレースに復帰することが出来る。自身が有利な場所からレース復帰した場合ペナルティが課せられる。
- 3) 決勝レース中3コーナーから直接9コーナーへの通過はショートカットとみなしペナルティの対象になります。(下図参照)



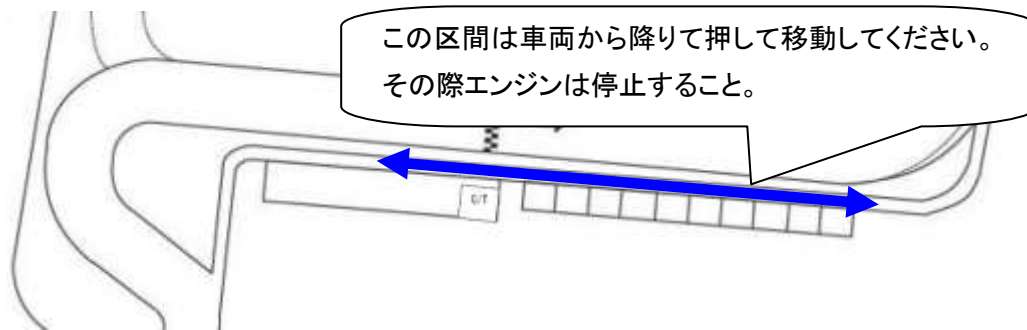
- 4) ライダーがレースからリタイアを余儀なくされるようなマシントラブルにあった場合、ライダーはコースアウトしてオフィシャルの指示に従い、安全な場所に車両を止めなければならない。
- 5) コース上にオイル等の液体をまき散らす恐れのあるトラブルにあった場合、ライダーはコースアウトして安全な場所に車両を止めなければならない。
- 6) コース内に停止後再スタートを希望する場合は、安全を十分に確認しスタートすること。

- 7) コース内での作業は一切禁止する。行った場合は失格となる。
- 8) いかなる場合でも逆方向への走行、あるいは規定外のコースを走行してはならない。
- 9) 公式練習・公式予選・決勝レースにおいて、直線部分では前車を追い越すため、あるいは後者のスリップストリームを外す目的以外で進路を著しく変更することを禁止する。
- 10) ピットインする車両のライダーは、ピットロード手前のコーナーより減速しながらピット設置側に車両を寄せ、ピットロード入り口手前より、手または足でピットインの合図を行った後、安全を確認してからピットロードに進入すること。(下図参照)



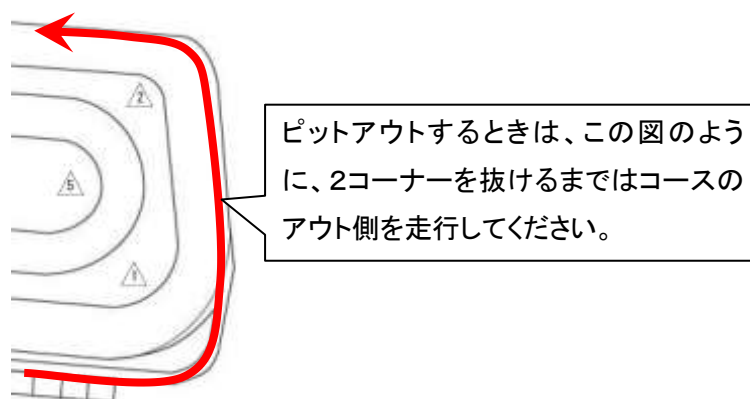
- 11) **ピットロードの指定区間はエンジンを切って基本は車両から降りて押して移動すること。(下図参照)**

**※耐久レースのみ適用(スプリントレース中は適用しません)**



**尚、押している途中で他の車両を追い越してもよいが、その際、追い越す車両やライダーに、追い越す側の車両やライダーが接触してはならない。また、エンジンを切り乗車した状態で足で蹴って移動してもペナルティにはならない。**

- 12) ピットロードでは、ピットインしてくる車両に優先権がある。ライダーやピットクルーはピットロード、及び、ピットエリアにおいて、他の車両の通過を妨げてはならない。
- 13) ピットロードからコースに復帰するライダーは、正規のピットロードからコースインし、2コーナー出口に達するまでコースアウト側に沿って走行しなければならず、その間後方から近づく車両の走行の走行を妨げてはならない。(下図参照)



- 14) ピット区域内にオイル等をこぼしたり、汚したりした場合は安全上ただちに清掃しなければならない。
- 15) ピットにて作業を行う者は、大会規則書を理解しているものとみなし、諸規則に違反した場合の責任は違反した者の担当する参加ライダーにペナルティが科せられる。
- 16) ピットエリアには参加ライダー、及び登録したピットクルーまたはその関係者以外の侵入を禁ずる。
- 17) ピットエリアに小学生以下の児童が入る場合はその保護者が責任を持つこと。
- 18) サーキット内での障害等事故に関しては各自の責任とし、未成年者は保護者の責任とする。主催者・役員・コース関係者は一切の責任を負わない。

## 2) 給油について

### **レース中の給油は禁止する。**

※ガソリンは、一般のガソリンスタンドで入手できるもののみとし、添加物などを入れることは一切禁止します。

## 3) レース走行中の厳守事項

- 1) シグナル及びフラッグシグナルを確認し、その指示に従う義務がある。
- 2) 通常予想できない地点での不必要な急減速をしてはならない。
- 3) いかなる場合も逆方向への走行あるいは規定外のコースを走行してはならない。
- 4) 止むを得ない場合を除いて、コース上に停車してはならない。
- 5) 直線部分では前車を追い越す以外の目的で進路を著しく急激に変更する事は禁止する。
- 6) 他の車両の走行を妨害するような走行をしてはならない。
- 7) 必要以上にハンドルから手を離したり、足をフットレスト(ステップ)から離し外に突き出したりするような危険な姿勢をとってはならない。

## 4) ペナルティについて

- 1) 大会中における競技規則による違反行為は規定のペナルティをかせるものとする。また、その他違反についても主催者の権限でペナルティをかせるものとする。
- 2) 主催者は状況に応じてペナルティを軽減したり強化したりすることができる。
- 3) レース中にペナルティを受けるチームは、代表者、若しくはその代理に対して、場内放送でコントロールタワーへ召集の方法を行い、ペナルティの内容を伝達した後、メインポストに黒旗と当該車両のゼッケンが書かれたボードが提示される。但し、この黒旗とボードは当該車両のピットインと競技長への出頭を要求するものではない。(当該車両は走行を続けてもよい。)

## 5) ゼッケン及びナンバー

- 1) ゼッケンナンバーは事務局にて割り当てられ、参加受理書にて通知される。大会当日の車検時に確認される。ゼッケンナンバーは各自用意すること。
- 2) ゼッケンナンバーは走行中に前面及び側面から見やすい所に、走行中に破損したり外れたりしないよう貼り付けること。(蛍光色はNG)(下写真参照)



ゼッケンNo, 前面はこの位置付近に貼り付けてください。カウルのない車両は上記の通り、ゼッケンプレートを使用してゼッケンNo, をつけてください。



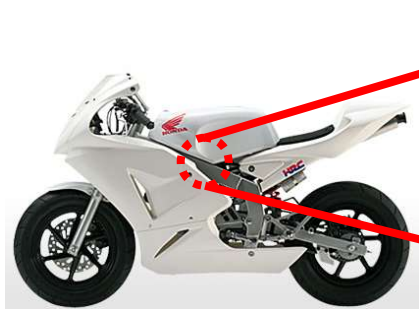
ゼッケンNo, 側面はこの位置からオフィシャルが判読できるように取付けてください。(反対も同様に) 前面ゼッケンNo同様に蛍光色の文字は禁止します。

- 3) カウルレスの車両はゼッケンプレートを使用してゼッケンナンバーを取付ける。ゼッケンプレートは最低20cm以上の正方形でシャープエッジの無い樹脂製のもので、走行中に前面及び側面から見やすい所に、走行中に破損したり外れたりしないよう取付けること。(蛍光色はNG)
- 4) ゼッケンナンバーは車検時に検査され判読しにくいと判断された場合は、修正を要請される。また、車検通過後であってもオフィシャル等より判読しづらいと判断された場合は、修正しなければならない。

## 6) 自動計測装置(トランスポンダー)の装着

- 1) 参加者は出走時に自動計測器(トランスポンダー)を車両に取り付けなければならない。取り付けを拒否した場合は、当該車両およびドライバーは出走を認められない。
- 2) **自動計測装置(トランスポンダー)の配布は、選手受付時に行ない、返却はレース終了後からとする。万一破損、紛失した場合、1個につき50,000円が主催者より請求される。**
- 3) 自己所持する自動計測装置(マイポンダー)を使用する場合は、事前にID. Noを登録すれば使用ができます。但し、一部のポンダーは使用できないものがあります。
- 4) **取り付けは、専用ホルダーで地面から60cm以下で、点火系(イグニッションコイル、プラグ、プラグコード等)から5cm以上離れた所で熱や振動の受けにくい場所、及び転倒時に地面に擦らない位置に、結束バンド(タイラップ)等で確実に固定すること。**

**※点火系に近い場所だと放電により壊れますのでご注意ください。**



左写真のように可能な限りフレームに固定してください。その際、走行中落ちないようにしっかり固定してください。

## 7)ライダーの装備(服装)

### 1) ヘルメット

MFJ公認のフルフェイス型で、傷や破損のないものを使用すること。コース内ではシールド及びあご紐を必ずすること。



必ず、このMFJ公認ヘルメット認証マークが付いたヘルメットを着用してください。

### 2) ブーツ

くるぶしの隠れる革製または同等の素材のもの。

### 3) グローブ

皮製で手の平及び甲が覆われ手首までであるもの。

### 4) レーシングスーツ

革製のもの、若しくはそれに近いもので競技中ライダーの体の安全を確保し運転を妨げるものであってはならない。(MFJ公認のものが望ましい。)



このMFJ公認レーシングスーツ認証マークが付いたレーシングスーツの着用を強く推奨します。

**※ヘルメットリムーバー・脊髓パッド・胸パッド(チェストガード)・肘・膝パッド、の使用を強く推奨する。**

**※エアバッグベスト並びにエアバッグ機能付きのスーツの使用を推奨します。18歳以下は強く推奨する。**

## 8)車両検査

- 1) 参加車両の車両検査はタイムスケジュールに従って、各自のピットで検査員の訪問車検が行われる為、必ず車両を準備しピットで待機して下さい。また、その際には、**車検チェックシートを提出してください。**
- 2) 車検時には、車両・装備(服装)の検査が行われる。
- 3) 車検に合格していない車両は、一切の走行を認めない。車検において規則違反または安全上、出場が不相当と判断された車両は、一切の走行を拒否される。また、一度車検に合格した車両であっても安全上、走行に不相当と判断された車両は、その後の走行を拒否される。
- 4) 主催者及び役員(オフィシャル)は大会中、必要に応じて随時車両の検査を行う権限を有する。

**※車検時に、別途「車検チェックシート」の提出が必要ですので、事前にチェックを済ませておいてください。**

## 排気音量について

オフィシャルがうるさいと感じた車両については、主催者が排気音量測定をする場合があり、改善されない場合はレースから除外される場合があります。

排気音量測定を行う場合は、車両から0.5m離れた場所で、車両毎に定められた回転数(目安:5,000~7,000回転)の時、測定した値が**99db以下**である事。

## 9)主催者の権限

- 1) 出場参加申込に際して、その理由を示すことなく参加を拒否することが出来る。
- 2) ゼッケンナンバー・ピットの割り当て等にあたり各参加者の優先順位を決定することが出来る。
- 3) その他、最終権限は主催者にあるものとする。

## 10) 傷害保険(井頭モーターパーク スポーツ安全保険)の案内

### 【保険の概要・注意事項等】

今回のイベントに参加される方は、井頭モーターパークが登録団体となった「井頭モーターパーク スポーツ安全保険」に加入できるものとします。

このスポーツ安全保険は、公益財団法人スポーツ安全協会が加入の取りまとめ機関・契約者となり、賠償責任保険を一括契約しています。

井頭モーターパーク スポーツ安全保険の詳細(保障内容や注意事項、他)についてはスポーツ安全協会のサイト(<http://www.sportsanzen.org/>)で確認して下さい。

又、保険金が支払われない場合や、支払いの条件等がありますので、必ず、スポーツ安全協会のサイトでご確認をお願いします。

万が一、事故がございましたら、その当日に、必ず井頭モーターパークにご報告下さい。

ご報告がない場合、確認が取れない場合は一切保険が使用できませんのでご注意ください。

尚、井頭モーターパーク スポーツ安全保険の加入は任意としますが、この保険に加入されない場合は、各自の保険(社会健康保険・国民健康保険等)で各自対応となりますので、安心の為、出来るだけ加入をお願いします。

又、井頭モーターパーク スポーツ安全保険加入希望者が、レース開催日の1週間前(受付締め切り日)までに4名以上居ない場合は、保険に入ることが出来ません。この場合、無保険(各自の保険で対応)で参加するか、不参加かを選択できるものとします。

### 【加入手続き】

保険の加入手続きは、井頭モーターパークが加入者全員分をまとめて申請しますので、イベント開催日の1週間前までに、申込用紙の記載事項(住所・氏名・生年月日・年齢・性別等)に記入漏れが無いことをご確認していただき、エントリー費を含む保険加入者分の保険料と申込用紙を、持参または、現金書留で郵送して下さい。

期限内に届かない場合及び、書類に記載漏れ等がある場合は受理できませんので、宜しくお願いします。

### 【補償できる事故】

今回のイベントに参加される方で、スポーツ安全保険に加入された方のみ適用になります。

事故がございましたら、その当日に、必ず井頭モーターパークにご報告下さい。

ご報告がない場合、確認が取れない場合は一切保険が使用できませんのでご注意ください。

補償内容の詳細、保険金が支払われない場合については、スポーツ安全協会のサイトでご確認をお願いします。

#### 1) 損害保険

**急激で偶然な外来**の事故により被った損害による死亡、後遺障害、入院、手術、通院を補償

※熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒も対象となります。

損害保険の詳しい内容は、スポーツ安全保険のサイト「損害保険」の項目でご確認下さい。

#### 2) 賠償責任保険

他人にケガをさせたり、他人の物を壊したことにより、法律上の損害賠償を負うことによって被った損害を補償

損害保険の詳しい内容は、スポーツ安全保険のサイト「賠償責任保険」の項目でご確認下さい。

#### 3) 突然死葬祭費用保険

突然死(急性心不全、脳内出血などによる死亡)に際し、親族が負担した葬祭費用を補償

損害保険の詳しい内容は、スポーツ安全保険のサイト「突然死葬祭費用保険」の項目でご確認下さい。

【保険掛金】

加入対象者	区分	対象範囲	掛金	手数料・管理費	合計
子供(中学生以下)	A1	イベント中	800円	200円	1,000円
高校生以上64歳以下	C	イベント中	1,850円	150円	2,000円
65歳以上	B	イベント中	1,200円	200円	1,400円

※保険掛金の合計は、スポーツ安全保険掛金の他に、井頭モーターパークの事務手数料及び安全管理費を加えたものになります。

【傷害保険・保険金額】

加入対象者	区分	死亡	後遺障害 (最高)	入院 (1日につき)	通院 (1日につき)
子供(中学生以下)	A1	3,000万円	4,500万円	4,000円	1,500円
高校生以上64歳以下	C	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円
65歳以上	B	600万円	900万円	1,800円	1,000円

※傷害保険の詳細内容は、スポーツ安全保険のサイト「[損害保険](#)」の項目でご確認下さい。

※賠償保険の金額は、契約した時点の最新の情報をスポーツ安全保険のサイトでご確認ください。(上記金額が古いデータの場合があります。)

【賠償責任保険 支払限度額】

加入対象者	区分	支払限度額
子供(中学生以下)	A1	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円
高校生以上64歳以下	C	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円
65歳以上	B	対人・対物賠償 合算1事故5億円 ただし、対人賠償は1人1億円

※自動車(自動二輪車、原動機付自転車を含む。)の所有、使用または管理、狩猟に起因する賠償責任は補償の対象となりません。

※賠償責任保険の詳細内容は、スポーツ安全保険のサイト「[賠償責任保険](#)」の項目でご確認下さい。

※賠償保険の金額は、契約した時点の最新の情報をスポーツ安全保険のサイトでご確認ください。(上記金額が古いデータの場合があります。)

【突然死葬祭保険 支払限度額】

加入対象者	区分	支払限度額
子供(中学生以下)	A1	突然死(急性心不全、脳内出血など)葬祭費用 180万円
高校生以上64歳以下	C	突然死(急性心不全、脳内出血など)葬祭費用 180万円
65歳以上	B	突然死(急性心不全、脳内出血など)葬祭費用 180万円

※突然死葬祭費用保険の詳細内容は、スポーツ安全保険のサイト「[突然死葬祭費用保険](#)」の項目でご確認下さい。

※賠償保険の金額は、契約した時点の最新の情報をスポーツ安全保険のサイトでご確認ください。(上記金額が古いデータの場合があります。)



## 11) 損害に対する責任

- 1) 走行中、自己の車両及びその付属品及び安全装置が破損した場合、サーキットの付帯設備等破損した場合も、その責任は自己が負わなければならない。
- 2) 走行に際して起こった負傷等は参加者自らが責任を負うものとする。
- 3) 参加者が未成年の場合は親権者が責任を負うものとする。

## 12) 大会役員の実任

参加者、ライダー及びピットクルーは大会役員が一切に損害補償の責任を免ぜられていることを知っていなければならない。すなわち、大会役員はその職務に最善を尽くすことは勿論であるが、その行為によって起きた参加者、ライダー、ピットクルー及び競技車両の損害に対して大会役員は一切の補償責任の無いことをいう。

## 13) 抗議

抗議はできない。抗議により大会進行の妨げや著しく非難があった場合、競技監督はその当該者に対して罰則を与えることができる。

## 14) 公式通知の発行

本規則書に記載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示、本規則書に生じた必要指示事項は公式通知によって示されます。

公式通知は

- ① エントラントもしくはライダー(代表者)の住所に郵送される。
- ② 大会事務局に掲出される。
- ③ パドックの掲示板に掲出される。
- ④ ライダーブリーフィングで指示される。
- ⑤ 緊急の場合は場内放送で伝達される。

以上の方法によって、参加者に通知されます。

## レースにおける2次災害防止について

### 転倒・故障したら

#### ◎ 2次災害防止を基本的に

転倒したら2次災害の防止、つまり後続車に轢かれる、後続車をまきこみ転倒させてしまう等、事故の増大を防止するよう心がけてください。

#### ◎ まず逃げる

転倒したらまず安全な所に出来るだけ早く逃げてください。特にオイルによる転倒は後続車も同時に転倒してきます。

#### ◎ 後続車への合図

オフィシャルが黄旗を振りますが、出来る限り後続車に知らせる努力をしてください。タイミングを見て電源と燃料コックをOFFにして火災やガス漏れの防止をして下さい。

#### ◎ 障害物の片づけ

オフィシャルと協力して散乱部品の片づけを素早く行ってください。オイルやガソリンがこぼれていたら処理作業も素早く行って下さい。安全上走ってくるレーサーに背中を向けられないよう心がけてください。

#### ◎ コース内はヘルメットを

自分が転倒した所は他のライダーも転倒しやすい場所です。いつ飛び込んで来るかわかりません。ガードレールの外に出るまではヘルメットは被ったままで行動してください。コース内(グリーンも含む)にライダーがいる間は黄旗が振られ、追い越し禁止です。他のライダーを拘束しますので、できるだけ早くコース外に退場してください。

#### ◎ 再スタート

マシンの再スタートが可能かどうかの確認をして下さい。

マシンの点検はコース内の危険な場所で行わないで下さい。オフィシャルの指示に従い安全な場所に移動して下さい。

- 1) オイル、ガソリン、冷却水、ブレーキオイル等の漏れがないか確認をして下さい。オイル漏れなどがあった場合は、無理にピット帰還はしないで下さい。
- 2) 走行に危険のある部品の破損、重要保安部品の破損がないか、また破損部分が鋭利になり2次災害を与えないか確認して下さい。
- 3) カウリング内に泥、砂利、草等が入っていないかを確認し、またタイヤに泥が付着したままライン上に復帰をしてはいけません、後方の安全を十分に確認し余裕を持ってコースに復帰してください。

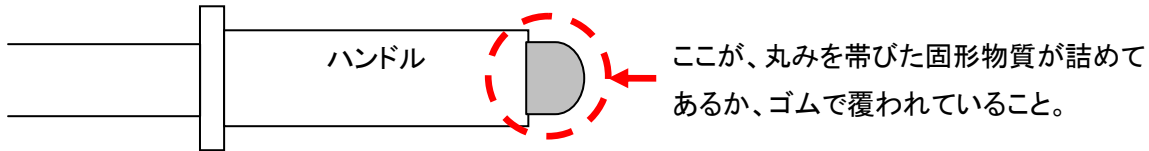
#### ◎ 転倒車両を見たら

転倒したマシンは、オイル、ガソリン等をこぼす可能性があります。走行中に転倒車両を目撃したら次の周には充分注意をして通過して下さい。

## 全車共通の車輛規則(安全部品関係)

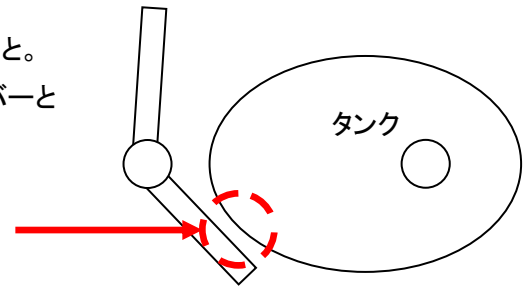
全ての車両は、次の項目が特に安全な状態であること。

1. エキゾーストパイプの取付けはボルト、ナットで確実に固定されていること。
2. ハンドルの先端は、丸みを帯びた固形物質が詰めてあるか、ゴムで覆われていること。(下図参照)



3. レバー、ペダル、ステップ等の先端は、丸みを帯びた形状であること。
4. ハンドルの切れ角は、左右いっぱいについた状態でもハンドルレバーと車両の隙間は、30mm の隙間があること。(右図参照)

このように左右どちらも30mm以上の隙間があること



5. フェアリングは、振動等で容易に脱落しないように確実に固定されていること。
6. フェアリングを外す場合は、ステーも取り外すこと。**構造上外せない場合は、先端をカバーするなどの対策を行い、体などに刺さりにくい状態にすること。**
7. エンジンまわりは、オイル汚れ等完全に除去されて、オイル漏れがないこと。
8. 全ての車両はオイルドレンボルト、フィルターキャップがワイヤーロックで固定されていること。**(HONDA NSR系のエンジンはトランスミッションのオイルレベルチェックボルトもワイヤーロックすること。)**
9. 全ての車両は、キャブレターのエアイベント、ブリーダーパイプからガソリンキャッチタンクへ確実に装着されていること。ガソリンキャッチタンクには空気穴を設けておくこと。
10. ドライタイヤは、国内製造者の一般市販公道用タイヤを使用する事。(RACING MINI S01/S01soft、S02、KR337/KR337pro、KR410、IRC MBR750/750pro、BT-601SS の使用を認める。)スリックタイヤは使用不可、ハンドカット禁止。
11. レインタイヤの使用を認める。
12. ドライブsprocketカバー、チェーンガード、sprocketガードを確実に取付けること。(右写真参照)

このようなsprocketガードを、巻き込まれ防止のため取付ける事。



13. 車検の確実性、トラブルの早期発見のために**きれいに整備清掃されている車両のみ車検を受けることができる。**
14. **ラジエタークーラントの使用は不可。**水道水を使用すること。
15. 4スト車両は、アンダーカウル(オイル受け)を装備のこと。
16. 4スト車両は、オイルキャッチタンク(容量500cc以上)の取り付けを義務付ける。
17. ブレーキパッド脱落防止の為、ピンプラグの装着を推奨する。
18. ブレーキキャリパー脱落防止の為、キャリパーを固定するボルトに穴加工を施し、ワイヤーロックを推奨する。

## ■スプリントレース参加車輛 規則

### ●エキスパート SPクラス

- ① 排気量は**2スト50cc未満・4スト100cc未満、及び GROM のミッション付き車両**でホイール径12インチ以上
- ② ニーグリップが可能な車両であること。(スクーターは不可)

◆ **2スト車両**: NSR50、NSRmini、NS50R等

◆ **4スト車両**: NSF100、等

◆ **GROM**: HRC GROM Cup 車両

※上記以外の車両で出場希望の方は問い合わせください。但し、戦闘力が明らかに上記の車両性能を超えるものでの参加は不可とします。

※詳細の車両規則は、2023もてぎショートコース選手権 特別規則書(下記URL)を参照の事。

([https://www.twining.jp/short\\_m/pdf/rule.pdf](https://www.twining.jp/short_m/pdf/rule.pdf))

※GROM の車両規則は 2023HRC GROM Cup の車両規定(下記 URL)を参照の事。

但し、2020 年式以前(4 速)と 2021 年～(5 速)のクラス分けはしません。

(<https://www.honda.co.jp/HRC/event/hrcgromcup/regulation/>)

### ●エキスパート ノーマルクラス

- ① 排気量は**2スト50cc未満・4スト100cc未満、及び GROM のミッション付き車両**でホイール径12インチ以上
- ② ニーグリップが可能な車両であること。(スクーターは不可)

◆ **2スト車両**: NSR50、NSRmini、NS50R、等

◆ **4スト車両**: NSF100、等

◆ **GROM**: HRC GROM Cup 車両

※上記以外の車両で参加希望の方は問い合わせください。但し、戦闘力が明らかに上記の車両性能を超えるものでの参加は不可とします。

※ノーマルクラスは排気量の変更及びマフラーの変更は禁止とし、それ以外はSPクラス規則に準じます。

※詳細の車両規則は、2023もてぎショートコース選手権 特別規則書(下記URL)を参照の事。

([https://www.twining.jp/short\\_m/pdf/rule.pdf](https://www.twining.jp/short_m/pdf/rule.pdf))

※GROM の車両規則は 2023 HRC GROM Cup の車両規定(下記 URL)を参照の事。

但し、2020 年式以前(4 速)と 2021 年～(5 速)のクラス分けはしません。

(<https://www.honda.co.jp/HRC/event/hrcgromcup/regulation/>)

### ●チャレンジクラス

- ① 排気量は**2スト50cc未満・4スト125cc未満**のミッション付き車両でホイール径12インチ以上
- ② ニーグリップが可能な車両であること。(スクーターは不可)

◆ **2スト車両**: NSR50、NSRmini、NS50R、等

◆ **4スト車両**: NSF100、APE100、XR100、KSR110、GROM、Z125PRO、等

※上記以外の車両で参加希望の方は問い合わせください。

※チャレンジクラスの改造範囲は無制限(電気アシストモーター類及び過給器の取り付けは不可)とします。

## ● GROM クラス

### ① HRC GROM Cup の車両規定に準じた車両であること。

※2020 年式以前(4 速)と 2021 年～(5 速)のクラス分けはしません。

※詳細の車両規則は、2023 HRC GROM Cup 規則(下記URL)を参照の事。

(<https://www.honda.co.jp/HRC/event/hrcgromcup/regulation/>)

## ■耐久レース参加車両 規則

① 排気量は2スト85cc未満・4スト150cc未満のミッション付き車両でホイール径12インチ以上

② ニーグリップが可能な車両であること。(スクーターは不可)

◆ ノーマルクラス(2スト):NSR50、NSRmini、NS50R、等、50cc未満のノーマルに近いクラス

◆ ノーマルクラス(4スト):NSF100、APE100、XR100、KSR110、GROM、Z125PRO、等、125cc未満のノーマルに近いクラス

※ノーマルクラスは排気量の変更及びマフラーの変更は禁止とし、それ以外はSPクラス規則に準じます。

※SPクラスの車両規則は、2023もてぎショートコース選手権 特別規則書(下記URL)を参照の事。

([https://www.twinring.jp/short\\_m/pdf/rule.pdf](https://www.twinring.jp/short_m/pdf/rule.pdf))

◆ SPクラス(2スト):NSR50、NSRmini、NS50R、等、50cc未満の準改造クラス

◆ SPクラス(4スト):NSF100、等、100cc未満の準改造クラス

※SPクラスの車両規則は、2023もてぎショートコース選手権 特別規則書(下記URL)を参照の事。

([https://www.twinring.jp/short\\_m/pdf/rule.pdf](https://www.twinring.jp/short_m/pdf/rule.pdf))

◆ OPENクラス(2スト・4スト共通):上記のノーマルクラス及びSPクラス車両規則の範囲外の車両であって、2スト85cc未満・4スト150cc未満とし、改造範囲は無制限(電気アシストモーター類及び過給器の取り付けは不可)とします。但し、レーザーエンジンは不可とします。

このクラスで参加希望の方は、問い合わせください。

※車種により改造の範囲によって、ハンディを変更(追加)する場合があります。

上記のスプリントレース車両規則、及び、耐久レース車両規則は、代表的な車両を記載していますので、この他の車両で参加希望の方は、問い合わせください。尚、問い合わせ内容によっては、回答に時間が掛かる場合がありますのでご了承ください。

## 【耐久レースの特例規則について】

●チーム毎にレースに参加できる車両は1台を基本としますが、下記に該当するチームは、主催者の許可を得られれば特例で2台の車両までなら使用を許可します。該当されるチームは事前にご相談ください。

・身長差のあるチーム員(例えば小学生と大人で参加するチームなど)がいる場合、同じ車両で安全に運転できない方に限定します。(身長差が約25cm以上を目安とします。)

●1チームで2台の車両を使用する場合、ゼッケンは同じにしてください。

●2台の車両クラスは同じにするか、異なる場合は、速い車両のクラスで参加する事になります。

※ノーマルクラスとSPクラスの車両ならSPクラスで参加になります。

●ピットストップ(ライダー交代)の方法は、交代エリアの横に車両を準備して待機してください。また、交代の際はトランスポンダーを車両から車両に付け替えてください。

●レース途中で車両トラブル等で走行できなくなった場合は、もう1台の車両で走行を継続することはできません。必ず、その車両を修理してからその車両で走行を開始してください。無理な場合はリタイヤ扱いとなります。

**【2022年からの主な変更点】**

1. スプリント:GROM クラスの追加・・・P2、P21(黄色ハイライト部)
2. 耐久:周回ハンディの変更・・・P7(黄色ハイライト部)

**この規則は、途中で変更になる場合があります。変更の際は、ホームページ上にUPします。**